



ひょうご歴史文化フォーラムをめぐって

小栗栖, 賢治

(Citation)

歴史文化をめぐる地域連携協議会予稿集, 11:47-48

(Issue Date)

2013-02-02

(Resource Type)

conference object

(Version)

Version of Record

(URL)

<https://hdl.handle.net/20.500.14094/81004431>



ひょうご歴史文化フォーラムをめぐる

兵庫県立歴史博物館

小栗栖 健治

はじめに

1 兵庫県立歴史博物館の歩み

1983年 開館

1984年 友の会設立

1996年 第1回目のリニューアル

2007年 第2回目のリニューアル

ひょうご歴史文化フォーラムの設立

2013年 ひょうご歴史文化フォーラム運営方針の変更

2 ひょうご歴史文化フォーラムの設立

(1) 設立にあたってー地域史研究団体の連携の場ー

(2) 地域史研究団体と歴史愛好家

①運営委員会の構成

②運営経費

(3) 活動内容

①講演会（春と秋）

②現地見学会

③ひょうご史最前線

④ひょうご史談話会（報告会）

⑤会報誌の発行

3 5年間の活動の中で思ったこと、考えたこと

おわりに

(1) 友の会事業との競合

(2) 会員制による運営から博物館事業へ

身近な歴史を楽しもう

「ひょうご歴史文化フォーラム」への誘い

地域は個性

私たちが暮らしている兵庫県には、さまざまな顔や表情があります。その一つが、摂津国・播磨国・但馬国・丹波国・淡路国という、かつての国分けです。この他にも、瀬戸内海と日本海、山と里、四季、あるいは気質といったこともあげることが出来ます。こうした風土がもたらす生活環境は、そこに暮らす人々の暮らしや個性豊かなものになっています。

京に隣接した兵庫県は、古来より歴史の表舞台にも度々登場します。しかし、教科書に書かれている歴史だけが日本の歴史ではありません。それぞれの地域にはそれぞれの歴史があります。例えば、その地域の由緒、地域に祀られている神々や英雄の話。こうした伝承は、この町や村でも語り継がれ、時にお国自慢になり、ふるさと意識を

昂揚させる礎ともなります。それは地域の人々にとって最も身近な歴史であり、そこに現れる豊かな個性が魅力ある地域社会を形作っているのだといえるでしょう。

「ひょうご」の歴史を楽しむ

現在、兵庫県立歴史博物館では、展示の改修と博物館運営のあり方について、具体的な検討を行っています。今後の博物館活動のコンセプトとして、「世代を超えて」「地域の豊かさ」「ふるさとの再発見」等を念頭においています。こうした考え方をもとに、「ひょうご」の歴史研究に力を注ぎたいと考えています。

兵庫県には地域に根ざした歴史研究の団体や博物館がたくさんあり、歴史の掘り起こしや文化財の紹介、ふるさとづくりやア

ひょうご歴史文化フォーラムの歴史文化の継承



イテン・イテンの形成に貢献しています。県立歴史博物館はこうした研究団体や博物館等と連携し、新たな歴史研究を展開させるために「ひょうご歴史文化フォーラム」の設立に向けて準備を進めています。二〇〇五年の十二月には「ひょうご地域史共同研究 ひょうご歴史文化フォーラム（仮称）の設立をめぐって」をテーマにシンポジウムを開催いたしました。大勢の方々の御参加をいただき、地域史への関心の高いことに自信を強めたところですが、全体的には高齢化が進み、後継者難であるという実情も浮き彫りにされました。

これからの地域の歴史研究の進展には、情報のネットワーク化が大きな課題になってくることでしょう。地域史研究の推進は、情報の共有や専門家と歴史愛好家とのネットワーク化をはかることにより、これまで以上の広がりと深まりを持つことが出来ると考えられます。「ひょうご歴史文化フォーラム」では歴史情報の共有はもとより、現地見学会、講座・講演会の開催、歴史愛好家の交流などを行い、このフォーラムを起点に歴史を楽しむ輪が次第に広がっていくことを期待しています。

ふるさとと継承

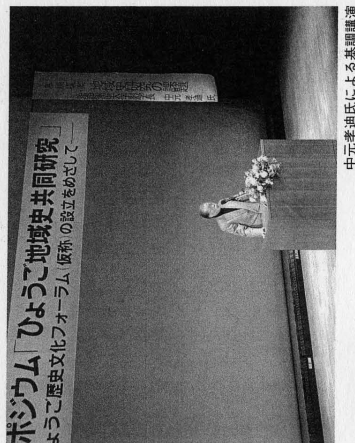
一九六〇年代にはじまる高度経済成長を契機に、私たちの暮らしや生業は画一化、均一化が進み、地域の個性は次第に失われていきました。近年、新興住宅地の開発や過疎化などによって、私たちの身の回りから地域の伝承や伝統は急速に消えつつあります。これらは、地域社会の継承と発展に大きな役割を果たしてきた、地域住民の共有の財産でした。未来を担う子どもたちにふるさとと歴史や伝統を伝えることは、私たち大人の大切な役割といえるでしょう。

「ひょうご歴史文化フォーラム」は人々の暮らしや文化の多様性について理解を深めることを目的としています。歴史や文化に関心のある人

なら誰もが参加できる、「ひょうご」の歴史を知り、「ひょうご」の歴史を楽しむ、伝承や祭りなどふるさとの文化を記録・保存する、こうしたことを基本的な姿勢として活動していきたいと考えています。御意見・御希望をお待ちいたしております。

大勢の方々の御支持と御参加を得て推進してまいりたいと考えておりますので、よろしく願っています。

兵庫県立歴史博物館館長補佐 小栗栖健司



中元孝雄氏による基調講演

お知らせ

「ひょうご歴史文化フォーラム」の設立を記念して講演会を開催します。

日時 ■ 11月10日(金) 午後1時30分から

場所 ■ イー・グレイヴ・めじろ3階あいめいホール

テーマ ■ いくつもの日本人気質―地域学の視点から―

講師 ■ 東北芸術工科大学・東北文化研究センター所長

赤坂 薫雄 氏

主催 ■ 兵庫県立歴史博物館・播磨学研究所